



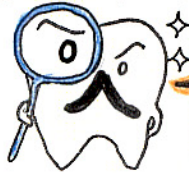
歯はどうして着色するの？

ご自分の歯の色が気になる事はありますか？毎日歯みがきしているのに、コーヒーやタバコのヤニなどで着色してしまって...という方も少なくないと思います。

自然で美しい歯の色は明るく若々しい笑顔には欠かせませんよね。今回は歯の汚れの原因“着色”についてご紹介したいと思います。

着色汚れが起る理由

歯の表面は **ペリカル** という薄い膜に覆われており、この膜に飲食によって入ってきた色素が吸着します。その色素が徐々に蓄積していく事によって歯の着色が起ります。



日常的に使っているカップを毎日洗浄しているにもかかわらず、茶しがいやコーヒーの色が残って茶色くは、ましく現象と同じです。



着色しやすい人

- ★ 乳歯や萌出したその永久歯 (エナメル質の構造が粗いため)
- ★ 唾液の分泌が少ない人 (唾液で洗い流す事ができない)
- ★ 歯並びが悪い人 (食物が溜まりやすく歯に長時間接触するため)

着色しやすいもの



舌に色がつくものは要注意です。口にした後はなるべく早歯を磨くかうがいをする事、おススメです。

ちなみに...



一般的に着色は歯科医院での専門的なクリーニングによって除去する事ができますが、内因性(エナメル質の形成不全・加齢による新陳代謝が低下する事によって起る着色)の場合は治療法が異なりますので、院長及びスタッフへお尋ねください。